





三

後のうま

三

あ
か
上

4366
18

養のうらまへ



けまの初ねのうらまへ
保元元年の三月より三月
十七日迄のうらまへ
の娘と保元のうらまへ

思ひ深めいれども
のあせちよきまへ
ありはせしむらへ
— 養のうらまへ —
養のうらまへに中ねの

をいひぬりては
うしにまじりて
はらひぬ

まき目さる
あぢけさる
をのさるさあさる
まきーあひり
まきもたのまき

あか上

けきりあか上とりてあか上
源氏正九のまよりりるをり
女三のま裳をせりるに四
女の如きれりる中三の

らあか上のま上たれ三月
中三のま上のま上三の年の
るるに三月正二日子れぬれむ
ろくはゆはゆをち成り
つ源氏の院のま上すのり

四年と改ひのふりこよ
別むこす母が小松と引つ
きてりれ其根といのらふれ
とよとふ又あまのりぬま
わり又源氏のゆきこよ

小松り
を兼れ
ひるこ
よらひり
おののあちも
とふつひく

